

## 平成29年 第8回真室川町教育委員会 会議録

平成29年12月22日（金）午後3時より、真室川町中央公民館研修室2において平成29年第8回真室川町教育委員会を開催した。

- |           |             |        |
|-----------|-------------|--------|
| 1. 出席委員   | 教育長職務執行者    | 土田 稔   |
|           | 委 員         | 遠田 且子  |
|           | 委 員         | 井上 夏来  |
|           | 委 員         | 山田 敏一  |
| 2. 事務局出席者 | 教 育 課 長     | 八 鍬 重一 |
|           | 指 導 主 幹     | 内 和 通  |
|           | 総務管理・学校教育担当 |        |
|           | 課 長 補 佐     | 佐藤 洋子  |
|           | 主 査         | 三浦 英之  |
|           | 生涯学習・スポーツ担当 |        |
|           | 課 長 補 佐     | 庄司 利彦  |
|           | 子育て支援担当     |        |
|           | 課 長 補 佐     | 奥山 早苗  |

### 3. 会議案件

- |         |                    |
|---------|--------------------|
| 日 程 第 1 | 前回会議録の承認について       |
| 日 程 第 2 | 教育長事務報告について        |
|         | (1) 諸会議・予定について     |
|         | (2) その他            |
| 日 程 第 3 | 報 告                |
| 日 程 第 4 | 議案第35号             |
|         | 平成30年度教育予算案の原案について |
| 日 程 第 5 | その他                |
| 日 程 第 6 | 閉会                 |

#### 4. 会議の経過

土田職務 本日の出席委員は4名です。定足数に達しておりますので、ただいま  
執行者 より平成29年第8回真室川町教育委員会を開催いたします。本日の  
案件は、日程第1から日程第6までとなっております。次第に従いまして、進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

はじめに、日程第1「前回会議録の承認について」を議題といたします。皆様から何か訂正等ございましたでしょうか。

八鍬課長 事務局より訂正をお願いします。4ページの真ん中程、執行者の発言  
のでは、私から質問があります。以下の文最後の行、「改修するためは」とありますが、「改修するためには」ですので、に を加入ください。

続いて5ページになります。2人目の発言者が沓澤主事となっておりますが、これを事務局と訂正ください。以上です。

土田職務 他にございませんか。

執行者

一同 ありません。

土田職務 では、ないようですので前回会議録については、承認ということで異  
執行者 議ありませんか。

一同 ありません。

土田職務 異議ありませんので、承認されました。

執行者 続きまして、日程第2「教育長事務報告について」(1) 諸会議・予定  
について事務局よりお願いします。

佐藤補佐 (総務管理・学校教育担当の事務報告及び予定を一括で説明)

奥山補佐 (子育て支援担当の事務報告及び予定を一括で説明)

庄司補佐 (生涯学習・スポーツ担当の事務報告及び予定を一括で説明)

土田職務 何か質問ありますか。

執行者 ないようですので、次に(2) その他について何かありますか。

ないようですので、これで日程第2を以上とします。

続きまして、日程第3「報告」についてを議題とします。

何かありますか。

八鍬課長 では、事務局より2点挙げさせていただきます。1点目は、12月に  
第5回定例会が開催されました。その際の、議員の皆様の一般質問を皆様  
様のお手元に配らせていただいています。質問の一覧表については、7  
名分が記載されておりますが、裏面に教育委員会が関係する質問・答弁  
を記載させていただいておりますので、ご確認ください。簡略に申し上げ  
ます。菅原道雄議員の運動公園についての質疑であります。

1つ目「運動公園・体育館の使用料の見直しについて」ということで、

八鍬課長

平成30年度中に見直しをするという答弁であります。3つ目の「ゲートボール場を屋根付き多目的広場にする考えについて」ということについては、屋根付き多目的広場も1つのアイデアではあるが、他の色々な活用方法について至急検討していく。という答弁であります。

番号3の佐藤成子議員の子育てしやすい環境整備についての質疑であります。1つ目「教材費の無償化・給食費の無償化について」であります。実施の見通しについては、まず副教材費の無償化を行い、その後給食費については精査していきたいという答弁になります。3つ目の「家族の子育てを支援する具体的な内容について」ということについては、前段の教育総合会議において意見交換をなされた旨の答弁でありました。最後に番号7の佐藤栄子議員の町営バスの利用についての質疑であります。3つ目の「芸術祭等の町民参加の際に町営バス利用の考えについて」ですが、これについては町営バスではなく、これまで行われてきた行事等のニーズに応じて対応してきたので、町営バス利用というニーズがあるとするならば考えていく。という趣旨の答弁でありました。その他についてはご確認ください。

1点目については以上になります。続きまして2点目です。

平成30年度に向けての町内の子育て支援についてであります。町内の施設の申込みが11月末締め切りであったのですが、たんぽぽこども園では3歳未満児の利用定員を30名と設定していましたが、ニーズが多く、平成29年度は33名の申込みがありました。その対応としてこども園にて子育て支援センターを実施していましたが、子育て支援センターを町に移管し、こども園の保育士を確保する形で申込者を受け入れたという状況でありました。しかし、平成30年度見込の申込みが50名となり、昨年の申込みよりさらに17名増加している状況になります。町内には、こども園の他に、小規模保育児童所のキッズハウスがあり、こちらは定員12名に対し申込みが8名で若干の余裕があり、そこで調整したとしても13名が待機ということになるため、13名分の受け皿を新たに確保する必要があります。受け皿確保のためには、場所と保育士が必要となるため、こども園と10月以降協議をしました。色々なアイデアはありましたが、結果的にたんぽぽこども園内の子育て支援室（前子育て支援センター）を保育室に改装し受け入れるのが最善だろうと算段されました。事業費は積算中ですが、保育室として使用するための基準であるトイレや手洗いの設備、間仕切り等が必要という状況であります。保育士についても、何名程度必要かを精査中ですが、不足する場合にはこども園にて新たに募集を行う方針と聞いております。

八鍬課長           また、町の施設整備については、町の補助金という形で議会の方へ図りながら1月中に決定したいという見通しであります。さらに、今申し上げたのが平成30年度見込ということになりますが、少子化傾向ということでもあります。未満児のニーズがなかなか減らないということで、今後ということに含めましても、こども園と中・長期的な方向について、町長が3歳未満児の無償化という話をしていることもあり、早急に並行して検討していくことを町長と協議しておりますことを報告とさせていただきます。以上です。

土田職務           2点、事務局より報告がありました。何か質問ありますか。

執行者

遠田委員           施設の方は見通しがありましたが、保育士の方はどのようになっていますか。

八鍬課長           保育士につきましても、何人程必要なのか、現状の人数に対して来年のクラス割り定員編成をした場合何人必要なのかを現在計算中ですが、数名と見込まれています。足りない場合には、公募し新たに確保する方向です。

土田職務           他にありますか。

執行者

井上委員           見込申込み50名の内訳はどのようなものですか。

奥山補佐           0歳児6名、1歳児17名、2歳児27名の合計50名です。

八鍬課長           年によって出生数の増減があり、2歳児については当方の見込みより多い出生数の年でありました。

井上委員           1歳児からの持ち上がりは何人ですか。

奥山補佐           持ち上がりは16名で、新たなお子さんは11名です。

土田職務           今後の申込みは受け付けないということですか。

執行者

奥山補佐           一旦11月30日に締め切りとさせていただき、受け入れ可能な部分は申し込みを受け付けます。

土田職務           現段階で受入れできない13名のほか来年度始まりまでの期間での締切日の設定はどのようになりますか。

奥山補佐           随時相談を受け付けています。

土田職務           申込んだ人は入れるものだと思っているのですか。例えばほかの市町村で探したりすることはしていないのですか。

奥山補佐           後半利用申し込みに関しては、現状では受け入れることができない状況で、今後何名増やせるかというところは未定です。

土田職務           先ほどの13名に関しては受け入れる方向で検討しているというこ

執行者 とでいいのですか。

奥山補佐 お見込みのとおりです。

八鍬課長 4月1日の時点で待機児童が出ないことを目指すということです。

土田職務 出生数は毎年40人前後とっていたが来年度の2歳児は増えたというのですか。

執行者

奥山補佐 来年度の年中は63名と多い年もあります。41名という年もあるので相対すると2割以上の開きも出てきます。

八鍬課長

山田委員 3歳未満の保護者はほとんど共稼ぎで、子供の面倒をみる家族がないということですか。

奥山補佐 祖父母と同居が多い中で、祖父母も両親も働いているという家庭が多いです。

土田職務 ほかにありませんか。

執行者

一同 ありません。

土田職務 それでは日程第3「報告」については以上とします。続きまして、日程第4の「議案第35号」平成30年度教育予算案の原案についてについて事務局よりお願いします。

執行者

八鍬課長 説明にあたり全体的なところをご説明します。まず前提として学校からの予算要望を聴取し、校長会からもご意見をいただいております。さらに教育委員、外部評価委員、社会教育委員の各皆様の意見や総合教育会議での内容も積算し要求しています。子育て支援分野については地域子育て支援事業充実のため、子育て支援員の研修や臨時保育士の処遇改善、学校教育分野では確かな学力の育成において、主幹配置は来年度も引き続きということ町長からコメントをいただいております。また、教育環境の充実では副教材費の公費負担や生涯学習・スポーツ分野では総合型スポーツクラブ設立に向けての調査検討を進めてまいります。ほか、まちなか図書館（仮称）の整備のための計画づくりを策定します。それでは各担当から説明します。

奥山補佐 （一括説明）

土田職務 それでは質問等ありませんか。

執行者

井上委員 子育て支援員の研修受講後、あんよの会へ登録するというスタイルが多かったが、それ以外の活動に関わってもらうことは考えていますか。

奥山補佐 今年度、両保育所にあんよの会以外に保育補助をしていただいている方にも県の支援員の研修を受講していただきました。町全体の具体的な計画はこれから策定しますが、子育てに関する事業も併せて検討してい

きたいと考えています。

井上委員 今後受講できる方々が制限されることもあるため、受講すれば働く場所も提供できるようにしていただけるようお願いいたします。

八鍬課長 ご意見いただいたとおりだと思います。研修は半日9回程度となり、あわせて雇用とセットで考えていくべきと認識しています。なお、定員は10人程度を想定しています。

遠田委員 臨時職員は正規職員の補助として配置しているのですか。今後は随時雇用することを想定しているのですか。

奥山補佐 今年度に関して言えば、退職1名に対し、1名の採用予定です。説明した臨時保育士は、受入人数に対応するための人員要求となります。

遠田委員 退職者がいれば正規職員を採用するという方向であるということか。

八鍬課長 そこが町全体の保育教育サービスをどのようにやっていくかということを数年以内に決めていくという状況にあります。

土田職務執行者 他に何かありますか。なければ次に学校教育担当をお願いします

佐藤補佐 (一括説明)

土田職務執行者 質問等何かありませんか。では、私からICTについて、授業支援ということですが公務支援ということは内容に入っていますか。

三浦主査 先生方の公務支援という形では内容には入っていないです。

土田職務執行者 他にありませんか。

山田委員 はい。外国語教育指導の中の英検受験助成について、英検受験のための対策や講習については考えていますか。

佐藤補佐 現在も英検の受験は中学校で行われていて、英語科の先生やALTの先生がそれに向けた講習等を常に行っていることなので予算上には出していないですが、そういった対応は行っています。

山田委員 大体何名程の受験助成を予定していますか。

佐藤補佐 昨年度は50名弱程の受験者がいたため、準2級を5名、3級を35名、4級を20名の計60名を想定しています。

土田職務執行者 他にございませんか。

井上委員 はい。タブレット導入に関して、今年度真中に20台導入されましたが、授業におけるタブレットの主な使用用途を教えてください。また、来年度から小学校にも導入されるが、中学校と同じような使用を想定しているかも教えてください。

三浦主査 今年度導入した分に関しては、教科を限定せず広く使ってほしいとい

うこちらの意向もあり、実際に授業支援ソフトを先生方に体験していただき、現在は情報系を担当している先生方を中心に使用していただいています。

内和主幹 私が見学してきたときは、数学や体育でも使用されていました。  
佐藤補佐 グループ学習において1グループ1台使用して調べたりするのもにも使用しているようでした。

井上委員 先生方は負担を感じている様子はなかったですか。  
三浦主査 まずは機器に慣れることが大事なので、導入の際に先生方に敬遠されることの無いように導入しました。

井上委員 小学校でも負担なく使用できそうですか。  
佐藤補佐 なるべく負担感をかけないように導入の準備を行い、今後の活用についても検討しながらまずは使っていただくというところからのスタートになります。

八鍬課長 中学校では20台導入していますが、さらに増やして欲しいとの要望もありました。

三浦主査 中学校の増台については、来年度は小学校の導入になるので、意見として受け止めています。

井上委員 次に副教材に関してですが、体育で使うスキーは保護者負担ということになりますか。

佐藤補佐 スキーに関しては、あくまで個人の物になるので、保護者負担ということと考えております。

井上委員 1月からスキー授業が始まり、スキー大会が1月下旬なので使用期間としては1カ月弱、小学校6年間では買い替えも必要になるので、保護者の負担は大きいのではないかと感じているのですが、こういった検討結果だったのか教えていただきたいです。

遠田委員 私も使う回数が少ないにも関わらずスキー代の負担が大きいとの話を何度か聞いたことがあります。

佐藤補佐 こちらの公費で負担するとなった場合でも、様々な制限ができてしまい、また、初心者やうまい子でも条件等が変わることから一気に解決できる問題ではないため、意見として受け止め今後の検討課題にしていきます。

山田委員 個人的に必要なものは靴であり、スキー板やストックは使い回しできるものなので、スキー板・ストックを公費で購入し、靴だけを保護者に買い揃えてもらうという方法もあると思うので、検討していただきたいです。

八鍬課長 町長の方針として、負担軽減を目的に1学年3万程の補助をすること

で、トータルの負担を軽減するということもあるので、その中でのスキー用具ということにもなります。スキー代だけをどうするかとなると、また別の問題になってきますので、様々な意見を出していただく必要があります。

土田職務執行者 人口が減っている中で、今後スキーをどのように考えていくのか町としての方向性が求められているのかなと思われま。

山田委員 金山町の白金会のようなシステムをぜひ真室川町でも検討していただけたらと思います。次に部活動の指導員に関して、中学校は真室川町に1校しかないが、予定として挙げていていいのですか。

佐藤補佐 指導員の導入については、最上管内で1/2校になるので、競争にはなるのですが、真室川町としては希望しています。その後の問題としては、指導員の人材がいるかが大きな検討課題になると思われま。現段階としては、予算化して希望を出したという段階になります。

土田職務執行者 中学校のグラウンドに関して、大分前からの話になりますが、工事費の積算まで入っての予算になっていますか。

三浦主査 測量・設計・積算まで入っています。

八鍬課長 既存資料無しでの前提なので、予算としては高くなっています。

土田職務執行者 わかりました。他にありませんか。

山田委員 はい。キャリア教育推進事業のなかで、体験に行った7名の感想等はありませんか。

内和主幹 企業の中までは入ることができなかったのですが、子ども達の感想としては、知らない世界を知れた、興味を持った等の感想があり、もっと人数を連れていければ良かった。というのがこちらの反省点となりました。

山田委員 せっかく行けたのだから、何か今後の足しになるように検討していきましょう。他に何かありますか。

土田職務執行者

一同 ありません。

土田職務執行者 では、次に生涯学習担当をお願いします。

土田職務執行者

庄司補佐 (一括説明)

土田職務執行者 只今の説明について、質問はありませんか。

土田職務執行者

土田職務 私の方からよろしいですか。

執行者 歴史民俗資料館については、利用者が増えているようだが、中央公民館の利用者は増えているのか。

庄司補佐 若干、増えています。利用者は増えているが収入の部分が減っている。  
土田職務 減免の利用者が多いのか。

執行者  
庄司補佐 今年度は懐メロ会のイベントがなく、公民館を使用しなかったため、収入が大幅に減ったため、来年度の使用料見込みを減額している。一方で利用者は増えている。特に図書利用が増えている。

土田職務 利用者はどのように数えているのか。

執行者  
庄司補佐 利用日誌から人数を集計している。

土田職務 利用料もあるが利用者が増えているかということも問われる。

執行者 総合型スポーツクラブについて真室川町はだいぶ遅れているが、体育協会との関係はどうなりますか。

庄司補佐 構想の中での話ですが、体育館にクラブマネージャーを置きたいと考えており、体育協会の方に管理者制度等でお願いできないかなどこれからの検討なのでいろいろな話をさせていただいている。

八鍬課長 以前、体育協会中心でという話があったのですが体育協会自身が必要性について疑問があり進行しなかった。

体育協会中心というよりも健康づくりであったり町民の中高年者や女性あるいはスポーツ少年団に加入する前の小さい子ども達、体育協会以外の層を狙いにして健康づくりや体力づくりの機会の提供としてゲートボール場のところに冬でもの使用できるようなものをという話の検討と利用料を下げてもっと町外からの利用者を増やすなどという課題があり、それを一つにまとめるための仕組みをこのクラブにしていきたいというアイデアです。利用料等の軽減と併せてです。

土田職務 文部科学省から運用の補助は出るのか。

執行者  
庄司補佐 ありません。

八鍬課長 文部科学省ではなく t o t o 助成に代わっている。

この助成は期間が決められており、助成を受けている間に会員を増やし、会員収入等で自立していくというストーリーだが、地方ではなかなか困難だということが目に見えているので一定程度、行政の他の需要、業務委託など今行っている行政として行っている社会体育の仕事をかぶせていく中で財源確保していかないと成り立って行かない。

土田職務 5年間は助成が受けられるのですね。

執行者

教育課長

はい。

土田職務

男女共同参画についてよろしいですか。掲示パネルを貼って周知を図っているようだが、進まない理由は何か。今回議会でも新しい教育委員が女性ということで進んでいるのではないかと話があったが、実際は進んでいない。地域フォーラムと抱合せて講演会などを開催しているが進まない理由は何か。

庄司補佐

来年、パープルリボンプロジェクトということで内閣府が11月に2週間ほど女性に対する暴力をなくする運動を進めている。来年度はこの運動でPRを図っていきたいと考えている。また、内閣府ではツリーに結んで私たちは男女共同参画に理解を示しますということも行っており、そのような取り組みを行なうなど新しい取り組みを行なっていきたい。

土田職務

予算はかからないのか。

執行者

庄司補佐

県からくることになっています。

土田職務

子育て支援と男女共同参画は両輪だと思うので是非進めてほしい。

執行者

遠田委員

具体的にどのようなことを進めて行けばよいのかというイメージがないと進まないのではないか。

土田職務

全ての市町村が策定しているわけではないが計画を策定し、指導がないと進まない。真室川町は計画が策定されていないのでまずは計画を策定すべきだ。総合基本計画の中でも男女共同参画は1、2行で終わっている。新しい教育委員の方も女性の方で女性が75%の割合となるので是非進めていただきたい。

執行者

他に何かありませんか。

井上委員

今年チャレンジ塾を実施しているが、成果を踏まえて今後どのように展開していくかを説明ください。

佐藤補佐

昨年度は小学校6年生を対象に実施しましたが、今年度は年度当初より土日や夏休みに中学校1年生を対象として実施し、小学校6年生については昨年度同様に春休みの実施を予定しており、これから募集をする予定です。来年度も今年度同様の予算を計上しています。

内和主幹

一人一人の進度やどの程度理解できているかという成績表のようなものを委託業者よりいただいております。それぞれ各家庭に向けて評価のようなものを渡していただき、意欲付けを図る、家庭に帰っても学習する習慣をつけたてもらいたいというのが大きな狙いであります。現中

土田職務

執行者 学校1年生は56名のうち21名が受講しており、全体の4割となっている。講師に言わせると非常に意欲的で成績も伸びているという話を聞いている。進度がすごく進んでいる子もいますが遅れている子もいます。遅れている子も繰り返し学習させていただいているところがありがたいという保護者の言葉をいただいている。来年度も同じような形で進めて行きたいと考えている。

井上委員 学校評価ともリンクしていくのでしょうか。

内和主幹 今後検討していきたい。

井上委員 その場をきっかけにして学校ともつながって行ければ良いと思う。

山田委員 遊佐町では中学校3年生を対象にして学習塾を実施している。英語と数学を中心に実施しているようだが、元教員や大学生を招いて2時間ほど実施しているようだが、真室川町ではどのように考えているか。

内和主幹 まだ1年目なので少なくとも2、3年は継続したいと考えている。

八鍬課長 本町では中学校3年生を対象に学校の教員が放課後の補充学習を行っている。そこに遊佐の場合は外部の方が入ってきているというパターンが一つ、二つ目のパターンとして放課後の学習に地元の退職者教員や外部の委託業者が実施しているというパターンがあるがいずれも共通しているのが集団学習である。レベル分けは行っているが生徒が課題をしているのを見守りし、指導を行っている。本町の場合は1対1の個別学習であり、進度も教材通り進むのではなく、わからない原因となっているところまで掘り下げて指導している。個別指導が他とは違うところだ。家庭学習の習慣をつけるきっかけとして小学生から中学生になる境目の時になるべくばねをつけてあげたいというのがこの事業の狙いです。県内では唯一真室川町だけがこのような個別指導を実施しています。

山田委員 わかりました。

井上委員 掘り下げる時期として6年生は良いタイミングですか。

内和主幹 どこに焦点を当てるかというところでベターなところにとすると小学校6年生から中学校1年生ではないでしょうか。つなぎ目のところを手厚くするという意味では良いと思われるが今後継続して実施してみないと成果がどう出るかは現段階では不明であります。

土田職務 他に何かありませんか。無ければ、これで日程第4の議案第35号 平成30年度教育予算案の原案について原案のとおり承認することで異議ありませんか。

一同 はい。

土田職務 異議がないようですので原案どおり承認します。

執行者 日程第5「その他」について何かありませんか。  
一同 ありません。  
土田職務 日程第6 以上をもちまして、平成29年度第8回真室川町教育委員  
執行者 会を閉会いたします。  
 お疲れ様でした。  
一同 お疲れ様でした。

会議録作成者 安彦 将

上記会議の顛末を記載し、その相違ないことを証するため下記に署名する。

平成29年2月9日

\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_  
\_\_\_\_\_